

黒潮

和歌山県看護協会 会報

平成21年10月発行

第109号

発行所

和歌山県看護協会

〒641-0036

和歌山市西浜1014-27

TEL:073-446-0605

FAX:073-446-0899

<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

発行人

木村 佐多子



白浜アドベンチャーワールドにて

写真撮影：広報委員

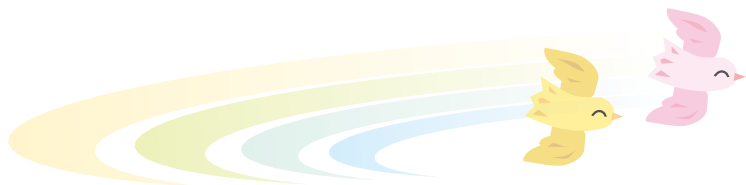
CONTENTS

- 地区支部だより 2～3
- ふれあい看護体験 4～5
- 認定看護師のコーナー
(トピックス 2009) 6
- 保健師のコーナー 6
- 助産師のコーナー 7
- 看護師のコーナー 7
- リレーエッセイ 友達の輪 8
- 私の〇〇 8
- MY SCHOOL 9
- 日本看護協会近畿地区法人会会員会、都道府県
職能委員長会が和歌山で開催されました 10
- 看護研修センター建設推進委員会より 10
- やさしい倫理だより 11
- 和歌山県看護協会の動き 12

和歌山県看護協会 会員数

平成 21 年 10 月 15 日現在

会員総数	5,245 名
名誉会員	1 名
保健師	135 名
助産師	180 名
看護師	4,399 名
准看護師	530 名



地区支部

伊都地区支部

支部長 岩崎 留美

平成 21 年度通常総会を 7 月 4 日に開催し、平成 20 年度事業活動と決算報告及び平成 21 年度の事業計画と予算について承認をいただきました。

平成 20 年度事業は、地域の医療の現状と問題を理解することと、地域の人材を活用した研修会・講演会の開催を重点におき活動を実施いたしました。今年度は、看護の職能団体として、地域参加型の講演会等の開催を通じ、地域に貢献できる活動を行いたいと考えています。



那賀地区支部

支部長 丸山 昌子

昨年、7 月から那賀地区支部長の役を受けさせて頂き、2 年目となりました。会員の方々のご協力ご指導を頂きながら、一年間無事に活動することが出来ました。今年度も同じ役員の方々と地区支部活動を精一杯頑張りたいと思いますので、よろしくをお願いします。

また、6 月 27 日（土）に那賀地区支部総会が岩出市総合保健福祉センターにおいて開催され、出席者 50 名の参加がありました。

また、その後の研修会では、22 名の非会員の方も参加され、「在宅での看取りについて」安川診療所の安川修先生を講師に迎えて、ギターの弾き語りを交えて、在宅医療の素晴らしさや難しさを学ぶことができ、とても感動的だったと大変好評でした。

和歌山地区支部

支部長 澤田 康幸

7 月 4 日（土）に支部総会および第 1 回研修会を開催致しました。223 名の参加がありました。研修会は「最新のスキンケア」で講演をして頂きました。楽しく学ぶことができ、看護の実践に結びつく内容でした。参加者の方からも好評を得ることができました。

9 月 12 日（土）「出前健康チェック」、10 月 31 日（土）第 2 回研修会「これからの感染対策－インフルエンザ・ノロウイルス対策－」を予定しております。多くの方の参加をお待ちしております。



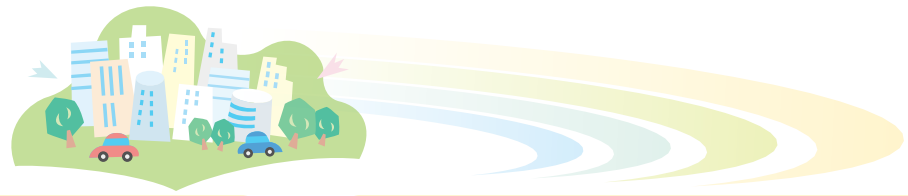
海南・海草地区支部

支部長 楠本 好子

平成 21 年度地区支部総会と第 1 回研修会を 7 月 4 日に開催しました。研修会では日本赤十字社和歌山県医療センター副看護部長の高岸壽美先生をお招きし「災害看護について」と題した研修会を開催し災害サイクルに応じた看護活動や災害時の心のケアの必要性と活動の実際という内容で、整体についても教えていただき大変勉強になりました。



だより



有田地区支部

支部長 中島 和美

6月27日(土)有田市民会館にて、21年度有田地区支部総会が開催され、事業計画・予算案について全員一致で承認されました。

終了後、摂食・嚥下障害看護認定看護師の田中智子様を講師に、「口から食べるためのアプローチ」と題して、約1時間30分の講義を受けました。視覚と実際の嚥下の実習もあり理解しやすく楽しい研修でした。参加者からは、もっと認定看護師の講義をとの貴重なご意見も頂きました。



日高地区支部

支部長 田中 澄代

平成21年度日高地区支部総会及び第1回研修会を7月4日(土)に開催しました。

「地域住民の健康をサポートし地域と密着した活動を行う」を目標に、今年度も役員一同頑張りますのでよろしくお願い致します。

研修会は、講師に愛知医科大学看護学部講師の岩崎順子先生を迎え「ガンが病気じゃなくなったとき」をテーマに開催しました。今後の予定として11月に看護月間行事を開催します。



田辺地区支部

支部長 澤越 純子

7月4日の総会の後、フットケアの研修会を開催しました。糖尿病重症化予防のためのフットケアに診療報酬が認められることになり看護の役割も拡大し人気の研修であります。地区支部でも開催し、多くの方が研修を受けられるようにとしました。

10月31日には、今後、新型インフルエンザの拡大や変異が危惧されている中、正しい情報や知識について深め、看護職として自分自身の身を守りながらも活動していく必要性が求められるため研修会開催を予定しています。多くの参加を期待しています。



新宮・串本地区支部

支部長 浦上眞千代

6月27日、平成21年度和歌山県看護協会新宮・串本地区支部総会並びに研修会を開催いたしました。

研修会は「看護専門職として存在する意義」と題して、埼玉医科大学保健医療部 看護学科教授 岡部恵子先生に講演していただきました。

先生ご自身の体験やナイチンゲールの言葉を引用しながらの具体的なお話をいただき、日頃の看護を振り返って、反省したり、看護観を考えるよい機会になったと思います。





ふれあい看護体験



日比記念病院

参加者の感想

新宮高等学校 寺岡 由真

今回、「ふれあい看護体験」に参加してもらい本当に良い経験が出来ました。看護師という職業を実際に体験し、仕事の大変さや難しい部分も分かり、本当に体力のいる仕事だなと実感しました。

でも、患者さんや看護師の方と直接ふれあうなかで、たくさん学べることがありました。どんなに仕事も辛くても、患者さんの笑顔を見れば、また新しい気持ちで頑張ることができる素晴らしい職業だと再認識できました。



担当者より

今回の看護体験の中で、患者さんからの感謝の気持ちをたくさんいただいたようで、心に残る一日であったように思います。この思いやる気持ちを育て、看護師を目指してほしいと思います。

堀川 美晴

有田市立病院

参加者の感想

耐久高等学校 平松 華奈

今回、普段できない貴重な体験をさせて頂き、それを通して患者様の気持ちになって色々考えることが出来たので、とても良い機会になったと思います。また、あまり笑わない患者様が自分の孫に似ていると言って、私を見て笑顔になってくれたときは嬉しくてすごく温かい気持ちになりました。看護師は大変な仕事ですが、逆に患者様から元気を貰えるのでやりがいのある、素晴らしい仕事だと気づくことができ良かったです。

担当者より

「目が輝いている」学生さんを見てますそう思いました。夢に向かって興味を持ち何かを学ぼうとする積極的な姿勢が、一緒にいた私に伝わって初々しい気持ちになれました。

私も“初心”に戻って患者さんとの“ふれあい”を大切にしたいと実感しました。夢を持ち続け、素敵な看護師を目指して頑張ってください。

御前 有美



新宮市立医療センター

参加者の感想

新宮高等学校 榎本 佳菜子

小さい時から夢だった看護師の仕事を、母が働いている新宮市立医療センターで体験することができました。看護師さんについて、一日の仕事の流れを教わり、身体を拭いたり髪を洗ったりさせてもらいました。一番印象にのこったのは、高齢者の方に対する接し方で、大きな声で患者さんの目を見てゆっくり話しかけていた事です。体験を通して、看護師の仕事の大切さを知りましたが、看護師になりたいという気持ちが一層強くなりました。



担当者より

今回、「ふれあい看護体験」を担当させていただきました。実際に患者様と触れ合うことで色々なことを体験することが出来たのではないのでしょうか？ この体験が将来看護師になるという目標に繋がってくれたら嬉しいです。

琴の浦リハビリテーションセンター

参加者の感想

近畿大学附属和歌山高等学校 慈幸 華也子

今回、看護体験をさせていただくまで私は看護師というのは医療的な事ばかりする職業というイメージをもっていました。

しかし、琴の浦リハビリテーションセンターで看護体験をさせていただいて看護師というのは医療的な事ばかりするのではなく、入浴や食事の介助など生活面でも患者さんを支えなければならないのだと気づきました。

この看護体験は将来、看護師になるための貴重な経験となりました。



担当者より

ふれあい看護体験では、ADL面への関わりを中心に体験してもらい看護は医療的処置だけでなく個性のある生活面への援助の大切さを感じてもらえる機会となった。今回の体験を今後の進路のステップにしてもらいたい。

医療法人裕紫会 中谷病院

参加者の感想

和歌山信愛女子短期大学附属高等学校 袋谷 実加

私達はこの看護体験を通して、いろいろなことを学ぶことが出来ました。血圧の測り方や、食事介助、入浴介助など、書ききれない程の体験をさせて頂きました。最初は緊張してしまい看護で一番大切な「笑顔」を患者さんにむけることが出来ませんでした。看護師さん、患者さんの笑顔が私達に力を与えて下さいました。医師の皆さんと看護師さん達のチームワークも凄く、医療は「信頼とやさしさ」で成り立っていることが分かりました。



担当者より

短時間の看護体験でしたが、「普段出来ないような体験が、出来てよかった。」と体験者が笑顔で話して頂きました。今回の体験が看護師への第一歩になれば幸いです。

梅野 祐子

和歌山県立医科大学附属病院

参加者の感想

耐久高等学校 戸田 沙也加

この体験を通して私は、看護師さんは本当に忙しくコミュニケーション能力が必要な仕事だと感じました。ナースコールがなればすぐに対応する、点滴や薬の用意をしておく、患者さんに体の調子を聞きに行く、などとても忙しそうでした。患者さんには優しく接し、笑顔で話をしていました。

私は、看護師になりたい気持ちが強くなりました。大変で疲れる仕事だと思うけれど、やりがいを感じられると思ったからです。

担当者より

病院概要のビデオ、病院見学、看護体験を行う中で緊張していた学生が徐々に笑顔へと変わった。患者から感謝され嬉しかったなどの感想を述べている。将来看護師を目指す学生に看護を知ってもらいたい機会になったと考える。



独立行政法人国立病院機構 和歌山病院 がん性疼痛看護認定看護師 加納 昌明

がん性疼痛看護認定看護師は、①がん性疼痛の全人的ペインアセスメントと症状マネジメント ②薬物療法の適切な使用と管理及びその効果の評価の2つの役割を担っています。

当院では緩和ケアを必要としているがん患者は多いですが、緩和ケア病棟はなく一般病棟でがん患者の治療・看護を行っています。平成20年4月より、がん性疼痛看護認定看護師としての活動を開始し、所属病棟で日々2交替勤務をしながら、1年余り活動してきました。緩和ケア委員会の運営を始め、対象患者に対しての専門的ケアの提供、医師をはじめとするスタッフや患者・家族からの相談に対し痛みの緩和手法の提案をしています。昨年11月より、緩和ケアに従事する日として月に2日(第2・4金曜日)、コンサルテーション業務、病棟ラウンドや緩和に関する書類の作成や整理等の活動を行っています。院内看護部ニュー

スへのシリーズ連載やローカル新聞への投稿、院内職員や地域の医療従事者に向けての勉強会の開催など、緩和に関する知識の普及と啓蒙にも力を入れています。

現状から、①積極的に患者・家族に関われる活動時間の確保・システム作り ②一人でも多くの緩和の知識を持った看護師の育成 ③院外の医療従事者・地域住民にむけた緩和に関する情報発信 ④専門能力をもったチーム医療体制の整備、を今後の課題として考えています。また勉強会や講演会への医師の参加数が増加することにより、緩和に関心の少ない医師も興味を持つことが出来るようになると思います。専門職種が不在である為、認定看護師がすべての役割を担っている状態にあります。限られた資源を有効に活用しながら、1人でも多くの患者の緩和に努めていきたいと考えています。

「がんの痛みと麻薬」

独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター 緩和ケア病棟

がん性疼痛看護認定看護師 井上 明美



日本でがんに罹る人は年間約60万人に及びます。がんの痛みは、がんが進行した末期の患者だけにみられる症状ではなく、1/3の患者は、がんと診断された早期のうちから痛みを感じます。医療者には、患者が体験する痛みを軽減または緩和する責任があります。

1986年世界保健機構(WHO)が提唱したがん疼痛治療法の普及に伴い、がんの痛みの治療はめざましい進歩をとげています。この治療法に則って適切に鎮痛薬を使用すれば、80～90%のがんの痛みを取り除くことができることが分かっています。また、がん対策基本法では「がん診断後の早い時期から治療と平行して十分な痛みの緩和を行うこと」が示されています。しかし、日本での除痛率は非常に低い現状にあり、痛みを和らげるために欠かすことができない医療用麻薬の使用量は、先進国のなかで最下位となっています。さらに、和歌山県のがん死亡者1人あたりの麻薬の使用量は全国43位であり、確立された治療法があるにも

かわらず、和歌山県にはがんの痛みで苦しむ患者が多くいることが推測できます。これは、一般的に「麻薬を使うと呼吸が止まる」「寿命を縮める」「麻薬は最期の薬」という医療用麻薬に対する誤解が影響していることが考えられます。医療用麻薬は、患者が痛みで我慢していたことや出来なかったことをできるようにしてくれ、その人らしく生きる土俵を作ってくれる薬です。

早期から痛みがコントロールされた患者の生存率が上がるという研究結果が報告されています。私たちには、がん患者の耐え難い痛みを取り除くために欠かすことのできない医療用麻薬に対する知識と技術を向上させる必要があります。それにより、患者が納得でき、安心して痛みの治療を受けられる環境を提供することができます。

患者が痛みから解放されるために、もっと積極的に痛みの治療が行なわれることを願います。

保健師のコーナー

保健師職能委員 山 縣 由 紀

9月5日、プラザホープにて保健師職能集会在開催されました。今年の保健師職能集会は、「保健師活動の専門性を発揮するための基盤強化を考える」と題して地域で保健師としていきいきと活動されている中堅保健師3名の方にそれぞれの活動を発表して頂きました。まず、「地域の母子保健体制づくりを進める中から」と題して湯浅町の金森敏代氏に、「市町合併後の体制づくりを進める中から」と題して橋本市の坂

口淑子氏に、「県保健師として業務担当制の中から」と題して尾崎裕美氏に発表して頂き、座長は吉田ひろみ氏にお願いしました。その発表の中から保健師活動は人との連携を大切にして、誰が相談に来ても対応できる体制づくりにつとめ、また保健師同士が共感・共有して支援できる仲間づくり、1人で抱え込まずケースや業務、研修を通じて後輩の育成をする等を大切にしていることや、業務分担制になっても定期的

に保健師が集まって相互にお互いの仕事を点検しながら支援、助言の中で仕事づくりをしている、保健師以外の職種にも理解してもらい、企画書を提出する、また情報を共有化するための工夫、安心して仕事ができる環境づくりを大切にしている、それから「地域をみる」という視点を忘れず、関係機関等と情報交換や意見交換をしていく、組織の中での統括保健師としての役割が大切であると発表されました。業務分担制になってもお互いに仕事を点検しながら、支援・助言の中で仕事づくり、仲間づくりを大切に



ていくこと、また後輩には、地域の中で出合いを大切に仕事が好きになって、仕事を継続して行ってもらうためにこれまで自分たちが先輩から継承して培ってきた保健活動を後輩に継承していくことが大切であるということでもとめられました。

行政で働く保健師の活動領域は分散配置により業務分担制が中心になり、業務の繁忙を極めていますが、保健師本来の役割を考え、保健師の専門性のコアを大事にした活動について聞くことができ、うれしく思いました。

助産師のコーナー

助産師職能委員長 芝 佳子

こんにちは、いつも看護協会助産師職能にご尽力頂きありがとうございます。

平成 21 年 9 月 5 日（土）助産師職能集会在、「お産への熱い思いを語ろう」をテーマに開催されました。

“正木かよ先生”を講師にお迎えし、参加 80 人の助産師が“先輩からの技の伝承”の奥深い内容に圧倒されました。

●いいお産の条件は母子が幸福に思える出産であり、助産師が共に喜びあえる出産の獲得に技をみがいてきた

- ①いつも自然出産の獲得にむけて自然出産の道理を追及してきたなかから生まれた技。
- ②自然出産獲得のために何か方策はないかと工夫を重ねるなかから生まれた技。
- ③医療を行えない中で安全な出産を追及した結果生まれた技。

1. 経膈分娩可能な保健指導

- 1) 家庭歴から考慮した保健指導（夫の頭が大きい）
- 2) 女性の自然性を活発化させる工夫



- ・三陰交—三陰交に灸を左右 30 壮ずつ行う
- ・温足浴—42℃～44℃で 30～60 分行う。塩を一握り混入してもよい（微弱陣痛）

2. 会陰保護術

1) 会陰裂傷を予防するテクニック

- A. 軟産道の裂傷と努責の関係
- B. 分娩体位をとるタイミング
- C. 会陰裂傷を防ぐポイント

- ・児頭は最小周囲径で娩出させる
- ・骨盤誘導線に添って娩出させる
- ・児頭はゆっくり陰門から滑脱させる

3. 分娩第 3 期出血の予防と止血法

●母乳哺育をスムーズにするために妊娠 36 週から始める乳管開通 正木先生の“是非私の技を後輩に伝えたい”情熱が会場を埋めた助産師の心に熱く伝わりあっという間に時間が過ぎ感動の涙があふれ、最高の研修でした。

今後皆様のご意見を参考にして素敵な研修を計画したいと思えます。

看護師のコーナー

看護師職能委員 藤本美幸



看護師職能集会、三職能合同研修会を 9 月 5 日に開催しました。看護師職能集会是、「笑いとストレスマネジメント」というテーマで財団新居浜病院の枝廣篤昌精神科医師にご講演していただきました。

前半は、「芸乃虎や志（げいのこやし）」という芸名での創作落語を、後半は、ストレスマネジメントについての専門的な内容に多くの笑いを散りばめたものでした。会場は前半、後半ともに大きな笑いと和やかな雰囲気に包まれ楽しい講演となりました。枝廣先生の「ストレスを抱え込んで笑えない時でも、笑顔を作るだけでイライラした脳波がおだやかな脳波に変化する」という言葉は、看護する側、受ける側どちらにも大切なことではないでしょうか。

午後からの三職能合同研修会では、日本看護協会の小川忍常任理事による「看護専門職の役割と職場定着」をテーマに三職の現状と今後の課題について具体的な内容で講演していただきました。看護界の未来を明るくしていくため、ワークライフバランスの早期実現に向け一丸となって取り組んでいかなければいけないと痛感しました。

最後に、三職と准看護師、四職の立場から「看護専門職が専門性を発揮し、やりがいを持って働くために」と題してパネルディスカッションが行われました。それぞれの職種で職場も違う方たちがどのような思いで働き続けてこられたかという発表は、興味深かったと同時に大きな感銘を受けました。おわりに、参加者の皆さまに元気とやる気を持って帰っていただけた研修会になったのではと思います。





★ 感謝 ★

白浜はまゆう病院

茨 精 子

美容師になりたかったのですが、両親に勧められて看護師になりました。現在、看護師になって8年目、しんどいこともあります。患者様に喜んでもらえたり、信頼されるとすごくやりがいを感じ楽しく働いています。

美容師も素敵だと思いますが、今は看護師になって良かったと思っています。美容師への憧れはずっとあるので、時々弟や友人の散髪をして趣味として満足しています。

色々反抗もしましたが、この仕事に就かせてくれた両親に感謝しています。

次回は、白浜はまゆう病院 名越 幸さんです。

私の



心臓手術を受けて

有田市立病院 宮崎 はゆき



約一年半前、私が日勤勤務をしていた時のことです。(当時私は、循環器内科病棟勤務でした。)胸部不快感、圧迫感、胸背部に軽い痛みを感じ、同日、即、院内で検査を受けました。その結果、和医大病院搬送となりました。

病名は、「主幹部十三枝病変」で約8時間に及ぶ緊急手術を受けました。

看護師として、なかなか体験できない経験となり、現在、術後半年間の病休をいただき、その後、内科・循環器内科病棟勤務に復帰して、1年となります。これも、主治医をはじめ、病棟師長同僚の皆の助けと協力のおかげと感謝し、私の体験を今後の看護に役立たせていきたいと思っています。

~~~~ 東洋羽毛のサービス ~~~~

- リフォーム ..... 古くなったお布団を、新品同様にリフレッシュします。羽毛は、きれいに洗浄して、新しい生地に詰め替えます。また、使わなくなったダブルを、シングルなどに、作り替える事も出来ます。
- 補修・お直し ..... 穴が空いてしまったり、破れてしまった時は、補修します。
- クリーニング ..... 大きなお布団を、クリーニング店まで持って行く必要はありません。宅急便で、ご自宅まで取りに伺います。
- 特別注文 ..... 製造メーカーなので、ご希望のサイズの、お布団を作ります



※お布団の事なら、何でもご相談下さい。

社団法人 和歌山県看護協会 推薦  
東洋羽毛関西販売株



ホームページアドレス  
<http://www.toyoumo.co.jp>

和歌山営業所 〒6408329和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F  
フリーコール 0120-32-7766  
大阪営業所 〒564-0062大阪府吹田市垂水町3-8-13  
フリーコール 0120-88-2104



本校は各関係機関の温かいご協力を得ながら、今春で開校 15 年目を迎えました。卒業生は県内外で幅広く看護職として活躍しており、地元の実習病院等に就職し、本校の講師や臨床指導者として後輩達を温かく指導してくれるメンバーも増えてきました。その姿を学生ともども大変心強く、頼もしく思っているところです。

教育理念では生命の尊厳を基盤として、人間を幅広く理解し、看護専門職としてふさわしい優しさと思いやり、使命感と責任感を持った学生の育成を目指しています。カリキュラムでは幅広い対象理解や、看護専門職として必要なコミュニケーション能力の強化を目指し、今春 1 年次から新たに文章表現法、倫理学、人間関係論、物理学を導入しています。各看護学でも学生の思考を育てるために課題学習を増やし、小グループ学習やロールプレイング等も取り入れています。そこで学生は主体的に学んでおり、授業方法の工夫の重要性を実感しているところです。2 年次では 3 年間に学ぶべき講義科目の殆どを学びます。実習開始までに学内で事例に基づく技術試験や各看護学で紙面患者の事例展開を行い、アセスメント能力や看護実践能力の強化を図っています。3 年次は 5 ～ 11 月まで専門領域の臨

地実習で、患者様や家族を通して学ばせていただいています。また、3 年次の全実習終了後、実習で受け持った患者様の看護を振り返り、ケーススタディ発表会を行います。さらに国試対策では 100% 合格を目指し、模擬試験、夏・冬の出張講座、必修対策、ビデオや DVD の視聴を行っています。時代と共に看護職に求められる社会のニーズは益々高まっています。今後も地域に根ざし、専門職業人としての誇りを持って対象とともに歩める看護職を育てる学校でありたいと思います。



2 学年 寺前 和直

私達のクラスは約 4 割が社会人です。私も大学を卒業後、病院事務や介護の仕事を経て入学しました。

入学前は「若い子達とうまくやっていけるのか」「クラスで浮いてしまわないか」など気になる事もありましたが、今では一人一人の味を出して、若者に負けじと頑張っています。

私は各々が今まで経験してきた事はクラス全体の強みになると実感しています。これからも皆で人間を幅広く理解し、地域の人々の健康と福祉に貢献できる看護職を目指し努力していきます。





## 日本看護協会近畿地区法人会員会・都道府県職能委員長会が和歌山で開催されました

開催日：9月29日（火）・30日（水）  
 場 所：和歌山マリナシティ・ロイヤルパインズホテル  
 参加者：法人会員会・都道府県職能委員長合同会議 45名  
 看護協会・看護連盟合同会議 35名  
 近畿地区事務担当者・近畿地区協会長・  
 オブザーバー合同会議 27名  
 会 議：○地区毎の法人会員会  
 ○法人会員会・都道府県職能委員長合同会議  
 ○法人会員会 ○各職能委員長会  
 ○看護協会・看護連盟合同会議  
 ○近畿地区事務担当者・近畿地区協会長・  
 オブザーバー合同会議

毎年日本看護協会地区別法人会員会が全国各地6箇所で開催され、近畿2府4県輪番制で、今年度は和歌山県が担当致しました。日本看護協会久常節子会長はじめ本協会から菊池専務理事、各職能委員長含めて15名、近畿地区各協会長、三職能各委員長、オブザーバーを含めて30名、合計45名の参加のもと開催されました。

一日目午前中は、近畿ブロックでの課題や取り

組み状況について意見交換をおこない、午後からは「日本看護協会の定款改正（案）について」、2日目は「保健師助産師看護師法改正後の取組みについて」、「新人看護職員卒後研修制度について」、「今後の働き続けられる職場づくりへの取組みについて」等それぞれの課題に対して、活発な意見交換が行われました。また今回は連盟との合同会議も一日目に開催され、有意義な意見交換もできました。3職能委員長会では、各職能の活動状況や課題等について協議が行われました。更に、今回は「都道府県看護協会における公益社団法人移行への課題について」、事務担当者会議開催と共に近畿地区各会長・オブザーバー・事務担当者交えての会議が開催され、盛り沢山の2日間となりました。

また、一日目の夜には、和歌山県福祉保健部北田部長、日本看護協会久常会長、日本看護連盟清水会長はじめ、役員や事務局協力員含め総勢76名参加の下、懇親会が開催され、日本看護協会・日本看護連盟と各近畿地区との連帯感がより一層高まり、新しい多くの課題に取り組むパワーも沢山頂きました。

## 看護研修センター建設推進委員会より

第2回委員会を開催しました。

開催日時：平成21年9月14日（月）  
 13：30～ トランスコスモス

会議内容：

- 白紙撤回した用地見学を実施（メンバー交代もあり、状況確認のために実施しました。）
- トランスコスモス使用についてのアンケート集計結果報告（ファーストレベル研修、臨床指導者講習会、施設会員代表者会議）
- 現研修センターの増築について協議  
 隣接地等の借用、買い上げについて業者か

ら打診があった。高層化も含め検討したが、根本的な解決には至らないためこれ以上の検討はしないことになりました。

### ● 今後の方向性について

1. トランスコスモスの施設を一人でも多くの会員の皆様に知ってもらうために手作りビデオを作成することになりました。
2. トランスコスモスの施設の適合性を判断するため、現状分析資料を作成することになりました。

# やさしい倫理だより

りん り

## 第7号



●発行責任者／看護師職能委員長 峰平一二美 ●／看護師職能委員会

### こんにちは！倫理綱領 条文Ⅶです！

看護師は、自己の責任と能力を的確に認識し、実施した看護について個人としての責任をもつ

自分でできることできない事を正しく判断しましょう。

「よくわからない」「できないこと」は、医師又は他の看護師に安全で確実な操作を依頼したほうが、看護師としての責任を果たしていることになるのです！

新人さんは自分で解決しなくてはと思うあまり聞けないことがあります。勇気を持って聞いてください。

#### 悪い例

●呼吸器のアラームが鳴っています。

##### 新人Ns

「なんで鳴っているんだろう・・・あれ？  
えーと。えーと？よくわからない・・・」  
「自分でなんとかしなくちゃ・・・」

##### 患者家族

「この看護師さん、大丈夫かな？  
誰か別の人にかわってくれないかなあ・・・」

安全・確実な技術を持たず、  
操作してしまうのは危険ですね。

#### 良い例

●呼吸器のアラームが鳴っています。

##### 新人Ns

「何で鳴っているんだろう？  
よくわからないな？」  
「私には操作できませんので、すぐに先輩  
Nsの応援を依頼します・・・」

##### 患者家族

「わからないことをベテラン看護師に  
きちんと聞いてくれている・・・  
安心してまかせられるな・・・」

自分ではできないことを判断し、  
先輩看護師に依頼したので患者の  
安全が守れました。

りん子の  
つぶやき



「自分で何とかする = 正しい判断」  
とは限らない！

# 和歌山県看護協会の動き

## 平成 21 年度：臨時常務理事会

日 時：平成 21 年 9 月 8 日（火） 13:30～16:30

場 所：和歌山県看護研修センター 会長室

### 協議事項

1. 9 月 29・30 日開催の地区別法人会員会・都道府県職能委員長会について
  - ・当日の会場設営や協力員の役割等
  - ・2 日間の会議の流れについて
2. 平成 23 年度からの代議員選出について
  - ・新法人における代議員選出数と選出方法について
  - ・代議員総数は 750 人（小規模でも最低 5 人は保証）（会員 800 人に 1 人）
  - ・全ての都道府県協会において、それぞれ看護師 2 人保健師・助産師・准看護師各 1 人の代議員は最低選出
3. 日本看護協会の平成 22 年度改選役員並びに平成 23 年度新任役員について
  - ・理事会の構成は地区理事 47 名を推薦、基本的には都道府県看護協会長を想定

### 報告事項

1. 新公益法人移行への考え方と準備について（公認会計士 額額和雅氏の講演を基に説明）
2. 日本看護協会への運営並びに事業に対する提案・要望
3. その他
  - ①病院協会学術大会演題募集と協力について（平成 21 年 11 月 3 日）
  - ②ヘルシー・ソサエティ賞の候補者推薦について
  - ③「毎日ウィークインわかやま」9 月 27 日（日）での「まちの保健室」開催について
  - ④第 10 回医療セミナー in わかやま（平成 21 年 10 月 3 日）について

## 平成 22 年度次の役員・委員が改選されます

1. 役 員
  - ・会長
  - ・第二副会長
  - ・常任理事
  - ・職能理事
    - ①保健師職能理事
  - ・地区理事
    - ①伊都地区理事
    - ②那賀地区理事
    - ③有田地区理事
    - ④日高地区理事
    - ⑤田辺地区理事
  - ・全区理事
  - ・監 事 1 名
2. 職能委員
  - ・保健師職能委員 3 名
  - ・助産師職能委員 3 名
  - ・看護師職能委員 4 名（うち 1 名は准看護師）
3. 推薦委員 3 名
  - 立候補・推薦についてのお問合せは、看護協会事務局までお願いします。

和歌山県看護協会推薦委員会

## 平成 21 年度施設会員代表者会議開催いたしました

平成 21 年 8 月 8 日（土）施設会員代表者 77 名の参加のもとに開催されました。

今回、医療機関や教育施設、また訪問看護施設の其々責任者として現場でご苦労をいただいている皆様方に、「看護職に選ばれる職場作り」「生き生きと働き続けられる職場作り」にいかしていただき職員の満足度や離職防止に役だてて頂きたいということで東京慈恵会医科大学附属病院 看護部長 大水 美名子先生をお迎えして「フィッシュ哲学 ～魅力ある職場環境を作る～」というテーマで午前中に講演をしていただき皆様方から好評を得ました。

午後からは法人会報告や新看護研修センター等についての意見交換を行ないました。

## 和歌山県看護研究学会開催のご案内

日 時：平成 22 年 2 月 27 日（土）

場 所：和歌山県民文化会館 小ホール

テ ー マ：輝く笑顔でよりそう看護

－ 今こそ看護の原点に －

参 加 費：会員 3,000 円 非会員 4,000 円

学生 1,000 円

特別講演：講師 宮子あずさ先生

（東京女子医科大学大学院看護学研究科

博士後期課程看護職生涯発達学専攻）